

# 金沢市立小将町中学校

〔はじめに〕

本校は、金沢市の中心部に位置し、1947年（昭和22年）に開校した。全校生徒は273名、教職員は32名である。

本校の前身は明治14年創立の金沢区高等小学校であり、歴史は古い。校区には伝統的文化財が多数存在する。また、県内唯一の特別支援学級の分校が設置され、障害のある生徒と障害のない生徒が同じ校舎で学んでいる。

ユネスコスクールの認定を受けて6年目を迎え、学校の特色や地域の特色を生かして、これからの社会を生き抜く力としての情報収集力、課題解決力、表現力等の育成を目指し取り組んでいる。

郷土「金沢」を理解し、広い視野に立って世界を見よう！

～まとめる・伝える・つながる～

## 1 ユネスコスクールとしての取組

### （1）「表現力発表」を中心とした総合的な学習の時間などの取組

本校では、生徒にとって身近であり、本市の大きな特色である「伝統文化」や自らが「生きる」ことを主な学習内容として、各分野の専門家からの指導や、個別・協同の探究活動を通して、これからの社会を生き抜く力としての情報収集力、課題解決力、表現力等を兼ね備えた持続可能な社会の担い手となる人材の育成を目指している。

#### 【1年生】「郷土金沢の伝統文化」

地域の伝統や文化の継承を目指した取組として、フィールドワークを通して各自の課題の調査をし、郷土金沢を理解する学習を行った。観光都市金沢、金沢の伝統工芸、金沢の歴史、金沢の食文化、金沢の文豪、金沢の祭りなど班ごとにテーマを決め、その後調査結果をまとめ、壁新聞として発表した。

#### 【2年生】「伝統文化」

同じ加賀藩の城下町である金沢と高岡の伝統文化の現状と課題について、各自が探究するテーマを設定し、現地でのフィールドワークを通して郷土の理解を深める学習を行った。初めて訪れる場所で金沢とは違う文化や歴史に触れ、多くのことを学ぶことができた。調査結果はそれぞれが壁新聞にまとめ、発表した。

#### 【3年生】「金沢と京都の伝統文化」「現代の世界」

武家の伝統文化が残る金沢と公家の文化が残る京都の比較から、伝統文化について理解を深める学習を、京都班別学習を通して行った。また、金沢の姉妹都市とその国について調べ、各国の交流員を招いて交流会を実施した。姉妹都市（国）と金沢（日本）との比較・検証に取り組んだ。さらに、金沢紹介のパンフレット作成に取り組んだ。各班で工夫を凝らし、これまでに学んだことを生かして金沢の魅力を伝えるパンフレットを作成することができた。

#### 【表現力発表】

「総合的な学習の時間」の目的である課題発見力・課題解決力・表現力の育成の集大成としての発表の場を設けている。例年3年生が国語科では、『小論文』（各自のテーマに基づく意見発表）、理科では、『プレゼンテーション』（パソコンを使った研究発表）、英語科では、『英語スピーチ』（英語による意見発表）、総合的な学習の時間では、『ポスターセッション』（テーマに基づく新聞切り抜きポスターによる意見発表）を行っている。ポスターセッションは各クラスで発表を行い、生徒同士で代表決定し、全校の前で発表をしている。1・2年生は、3年生の発表を聞いて学習する機会となり、意見発表を行う3年生の姿が目標にもなっている。

## (2) 環境問題への取組

### ①植林地作業

本校は、市内でも数少ない学校植林地を持つ学校である。卯辰山の総面積 8271 坪の地で、戦時中は食料増産の一翼として山林を開拓し、畑として活用していたが、戦後植林地として松や杉などを植林し今日に至っている。創立記念行事の一環と位置づけ、毎年5月に全校生徒、教職員、保護者が協力して植林地作業（植樹、下刈、つる切り、下枝切り、雪倒れ直しなどの作業）を行うことで、学校を愛する心を育み、自然を大切にすることを育てる学習を行っている。

### ②生徒会活動の取組

生徒からの発案である「エコキャップ運動」を通して、普段ゴミとして捨てられているペットボトル飲料のキャップを回収してリサイクルするとともに、その売却益で途上国の子どもたちにワクチンを送る活動を行った。合わせて、キャップがゴミとして捨てられた場合、焼却処分されてCO<sub>2</sub>の発生源になるなどの環境問題に関心を持たせる機会を設けた。

## (3) 全市一斉「絆」活動の取組

「金沢児童生徒ボランティアの日」が7月28日にあり、地域の清掃を行った。数年前から校区の馬場小学校・明成小学校の児童と一緒に活動を行っている。活動内容は、浅野川河川敷や公園、兼六園下バス亭、学校周辺等を掃き掃除、ゴミ拾い、空き缶拾い、草むしりするというものだった。小学生と中学生が協力して助け合いながら作業をしている姿が見られた。小・中学生が共同作業を行う中で、それぞれの学ぶべき点や、自分にも取り入れるべき点などの発見があったようだ。協力し合って地域をきれいにする取組は、心の交流にもなり、気持ちよく取り組むことができた。

## 2 成果と課題

### (1) 生徒の変容や、持続可能な社会の構築に向けた行動

生徒はそれぞれの学習を通して、地域に対する愛着を育み、地域の人や文化を大切にする気持ちを学んできた。積極的に外部から講師を招いて、地域から学んできたことを伝えることができ、人と人とのつながりを深めたり広げたりすることができた。

### (2) 情報の発信、ネットワークづくりについて

学校便りやホームページを通して本校の取組を発信することができた。生徒会の代表者が金沢「絆」会議やこどもサミットなどを通して取り組みを発表してきた。さらに、さまざまな加盟校や団体との交流や連携づくりを進めていく必要がある。



2年高岡自主プラン



3年ホスターセッション



植林地作業



「絆」活動